

【短大】単位認定の対象とする技能審査名と認定対象授業科目

分野	名称と実施団体名	基準	授業科目区分		単位認定対象授業科目 (○囲み数字は単位数を表す)	認定 単位数
			教養 教育	専門 教育		
経理	簿記検定 (日本商工会議所)	1 級		●	簿記検定Ⅰ～Ⅳ②②②②※1	8
		2 級		●	簿記検定Ⅰ～Ⅱ②②※1	4
		3 級		●	簿記検定Ⅰ②※1	2
	簿記能力検定 (公社) 全国経理教育協会)	上級※2		●	簿記検定Ⅰ～Ⅳ②②②②※1	8
		1 級※2		●	簿記検定Ⅰ～Ⅱ②②※1	4
		2 級		●	簿記検定Ⅰ②※1	2
ビジネス・実務	ファイナンシャル・プランニング技能検定 (一社) 金融財政事情研究会、 NPO 法人日本 FP 協会)	1 級		●	F P 技能検定Ⅰ～Ⅲ②②②	6
		2 級		●	F P 技能検定Ⅰ～Ⅱ②②	4
		3 級		●	F P 技能検定Ⅰ②	2
	ファイナンシャル・プランナー (NPO 法人日本 FP 協会)	CFP®*		●	F P 技能検定Ⅰ～Ⅲ②②②	6
		AFP		●	F P 技能検定Ⅰ～Ⅱ②②	4
	秘書技能検定 (公財) 実務技能検定協会)	準1 級以上		●	秘書技能検定Ⅰ～Ⅲ②②②	6
		2 級		●	秘書技能検定Ⅰ②	2
	ビジネス能力検定 ジョブパス (一財) 職業教育・キャリア教育財団)	2 級以上	●		ビジネス文書 & メールの書き方②、 仕事をマネジメントする②	4
		3 級	●		ビジネス文書 & メールの書き方②	2
	ソーシャル検定 (全国自動車大学校・整備専門 学校協会)	上級	●		ビジネス文書 & メールの書き方②、 仕事をマネジメントする②	4
		中級	●		ビジネス文書 & メールの書き方②	2
	リテールマーケティング (販売士) 検定 (日本商工会議所)	1 級		●	販売士検定Ⅰ～Ⅲ②②②	6
		2 級		●	販売士検定Ⅰ～Ⅱ②②	4
		3 級		●	販売士検定Ⅰ②	2
	ビジネス実務法務検定®* (東京商工会議所)	2 級以上		●	ビジネス実務法務検定Ⅰ～Ⅱ②②	4
		3 級		●	ビジネス実務法務検定Ⅰ②	2
情報技術	基本情報技術者試験 (独) 情報処理推進機構)	合格		●	情報技術者試験Ⅰ～Ⅱ②②	4
	応用情報技術者試験 (独) 情報処理推進機構)	合格		●	情報技術者試験Ⅰ～Ⅲ②②②	6

*ビジネス実務法務検定®は東京商工会議所の登録商標です。

CFP®はFINANCIAL PLANNING STANDARDS BOARD LTD (FPSB) の登録商標です。

※1 「簿記検定Ⅰ」が単位認定された場合「簿記3 級をめざす」、「簿記検定Ⅱ」が単位認定された場合「簿記2 級入門 (商業簿記)」の学習はできません。

※2 全科目合格が必要

分野	名称と実施団体名	基準	授業科目区分		単位認定対象授業科目 (○囲み数字は単位数を表す)	認定 単位数
			教養 教育	専門 教育		
コンピュータ・情報活用	情報セキュリティマネジメント試験 ((独) 情報処理推進機構)	合格		●	情報活用試験Ⅰ～Ⅱ②②	4
	ITパスポート試験 レータ試験) ((独) 情報処理推進機構)	合格		●	情報活用試験Ⅰ②	2
	情報活用試験 2級以上) ((一財) 職業教育・キャリア教育財団)	1級		●	情報活用試験Ⅰ②	2
英語(母国語以外の方のみ対象とします)	実用英語技能検定 ((公財) 日本英語検定協会)	1級	●		基礎英語Ⅰ②、基礎英語Ⅱ②	8
				●	TOEIC テスト リスニング②、 TOEIC テスト リーディング②	
		準1級	●		基礎英語Ⅰ②、基礎英語Ⅱ②	6
				●	TOEIC テスト リスニング②	
		2級	●		基礎英語Ⅰ②、基礎英語Ⅱ②	4
	TOEIC® Listening & Reading Test* ((一財) 国際ビジネスコミュニケーション協会) ※ IP テストも可	準2級プラス 準2級	●		基礎英語Ⅰ②	2
		800以上	●		基礎英語Ⅰ②、基礎英語Ⅱ②	8
				●	TOEIC テスト リスニング②、 TOEIC テスト リーディング②	
		700以上	●		基礎英語Ⅰ②、基礎英語Ⅱ②	6
				●	TOEIC テスト リスニング②	
	TOEIC® Speaking Test* ((一財) 国際ビジネスコミュニケーション協会) ※ IP テストも可	600以上	●		基礎英語Ⅰ②、基礎英語Ⅱ②	4
		450以上	●		基礎英語Ⅰ②	2
		150以上	●		基礎英語Ⅰ②、基礎英語Ⅱ②	8
				●	TOEIC テスト リスニング②、 TOEIC テスト リーディング②	
		140以上	●		基礎英語Ⅰ②、基礎英語Ⅱ②	6
				●	TOEIC テスト リスニング②	
		110以上	●		基礎英語Ⅰ②、基礎英語Ⅱ②	4
		100以上	●		基礎英語Ⅰ②	2
	TOEIC® Writing Test* ((一財) 国際ビジネスコミュニケーション協会) ※ IP テストも可	160以上	●		基礎英語Ⅰ②、基礎英語Ⅱ②	8
				●	TOEIC テスト リスニング②、 TOEIC テスト リーディング②	
		140以上	●		基礎英語Ⅰ②、基礎英語Ⅱ②	6
				●	TOEIC テスト リスニング②	
		110以上	●		基礎英語Ⅰ②、基礎英語Ⅱ②	4
生活・サービス	日本漢字能力検定 ((公財) 日本漢字能力検定協会)	準1級以上	●		日本漢字能力検定Ⅰ～Ⅱ②②	4
		2級	●		日本漢字能力検定Ⅰ②	2
	カラーコーディネーター検定試験® (東京商工会議所)	アドバンス クラス	●		カラーコーディネーション②	2
	色彩検定 ((公社) 色彩検定協会)	2級以上	●		カラーコーディネーション②	2
	食生活アドバイザー® 検定* ((一社) FLA ネットワーク協会)	2級以上	●		食生活アドバイザー検定②	2
	サービス介助士検定 (旧・サービス介助士2級) ((公財) 日本ケアフィット共育機構)	合格		●	サービス介助士検定②	2

*TOEIC® は米国 Educational Testing Service (ETS) の登録商標です。
 食生活アドバイザー® は (一社) FLA ネットワーク協会の登録商標です。
 カラーコーディネーター検定試験®、福祉住環境コーディネーター検定試験® は東京商工会議所の登録商標です。

分野	名称と実施団体名	基準	授業科目区分		単位認定対象授業科目 (○囲み数字は単位数を表す)	認定 単位数
			教養 教育	専門 教育		
生活・サービス	福祉住環境コーディネーター検定試験 [※] (東京商工会議所)	2級以上		●	福祉住環境の考え方と実践②、 福祉住環境コーディネーター検定Ⅰ②	4
		3級		●	福祉住環境の考え方と実践②	2
	総合旅行業務取扱管理者試験 (旧・一般旅行業務取扱主任者) (一社) 日本旅行業協会)	合格		●	旅行業務取扱管理者試験Ⅰ～Ⅱ②②	4
	国内旅行業務取扱管理者試験 (一社) 全国旅行業協会)	合格		●	旅行業務取扱管理者試験Ⅰ②	2
	介護支援専門員(ケアマネジャー) (都道府県の福祉関連部署)	登録者		●	介護支援専門員⑧	8
	介護福祉士実務者研修 ^{*4} (厚生労働省老健局)	修了		●	介護福祉士実務者研修④	4
	介護職員初任者研修 ^{*5} (厚生労働省老健局)	修了		●	介護職員初任者研修②	2
国家試験	税理士試験 ^{*6} (国税庁 国税審査会)	科目合格		●	税理士試験⑩	10
	看護師試験 ^{*7} (厚生労働省 医政局)	合格		●	看護師試験⑩	10
	歯科衛生士試験 (一財) 歯科医療振興財団)	合格		●	歯科衛生士試験⑩	10
	介護福祉士試験 ^{*8} (公財) 社会福祉振興・試験 センター)	合格		●	介護福祉士試験⑧	8
	保育士試験 ^{*8 *9} (一社) 全国保育士養成協議 会 保育士試験事務センター)	合格		●	保育士試験⑥	6
	宅地建物取引士試験 (一財) 不動産適正取引推進機構)	合格		●	宅地建物取引士試験④	4
	自動車整備士試験 (一社) 自動車整備振興会)	1級		●	自動車整備士試験Ⅰ～Ⅴ②②②②②	10
		2級		●	自動車整備士試験Ⅰ～Ⅲ②②②	6
		3級		●	自動車整備士試験Ⅰ②	2
	美容師試験 (公財) 理容師美容師試験研修センター)	合格		●	美容師試験⑩	10
	理容師試験 (公財) 理容師美容師試験研修センター)	合格		●	理容師試験⑩	10
	衛生管理者試験 (公財) 安全衛生技術試験協会)	第Ⅰ種		●	衛生管理者試験Ⅰ～Ⅱ②②	4
		第Ⅱ種		●	衛生管理者試験Ⅰ②	2

* 福祉住環境コーディネーター検定試験[※]は東京商工会議所の登録商標です。

※4 ホームヘルパー1級も可

※5 ホームヘルパー2級も可

※6 税理士試験の合格について: 1科目の合格から申請できます(10単位認定)。

ただし、同資格の単位認定は在学中に1回限りです。(2科目以上合格した場合でも10単位以上の認定はありません。)

※7 准看護師は除く

※8 指定養成施設(短大、専門学校等)卒業をもって資格を取得した場合は対象外です。

※9 地域限定保育士は除く

●申請および認定に係る留意事項

・技能審査等の単位認定は、選択したコースの配本科目に関わらず申請することができます。

・スクーリング単位としての認定は行いません。なお、単位認定後はスクーリングの受講はできません。

・本単位認定の申請と前後して単位認定対象授業科目の科目修得試験受験・スクーリング受講を申し込んだ場合、当該科目の科目修得試験・スクーリングを受験・受講することはできますが、単位認定は本制度分を優先します。

・上限単位数を超えて申請された場合は、本学にて認定単位を任意で選び上限範囲内で認定します。